

- [成果情報名] 極早生、連続出蕾性で食味に優れるイチゴ‘きらび香’の育成
- [要 約] 極早生、連続出蕾性で食味に優れ、果皮が硬い、イチゴの新品種‘きらび香’を育成した。
- [キーワード] イチゴ、極早生、連続出蕾性、新品種
- [担当] 静岡農林技研・育種科
- [連絡先] 電話 0538-36-1554、電子メール agriikusyu@pref.shizuoka.lg.jp
- [区分] 野菜・花き（野菜）
- [分類] 技術・普及
-

[背景・ねらい]

イチゴの品種競争が益々激化する中で、イチゴ業界をリードするオリジナル品種の育成が求められている。また、省力で多様な作型の導入は、イチゴの経営規模拡大に重要な条件であり、これに対応できる、極早生・連続出蕾性を備えた収量性、食味、輸送性などに優れる本県オリジナル品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1 育成経過

‘きらび香’は、2009年に所内育成系統‘05-2-5’に同‘静岡13号’を交配した750個体から選抜した（図1）。一次選抜、二次選抜、三次選抜を経て、2013年に‘静岡15号’の育成番号を付与し現地試験を開始した。概ね良好な結果が得られたため、2014年に品種登録出願し、2015年1月に出願公表された。なお、旧系統番号は‘09-2-8’であった。

2 特性

(1) 長所

- ①光沢に優れる……………‘紅ほっぺ’よりも優れる（図3）
- ②早生性に優れる……………普通ポット作型で11月下旬から収穫が可能（表1）
- ③連続出蕾性に富む……………‘紅ほっぺ’よりも一次腋花房の収穫が20日早い（表1）
- ④果皮が硬い……………‘紅ほっぺ’よりも硬く、輸送性に優れる（表2）
- ⑤良食味……………糖度が高く、酸度は‘紅ほっぺ’と‘章姫’の中間（表2）
- ⑥収量性に優れる……………3月末までの収量は‘紅ほっぺ’と同等（表2、図2）
- ⑦作型適応性が高い……………高設適性がある

未分化定植や電照抑制作型に対応できる

(2) 短所

- ①花房第一果が変形しやすい……………変形程度が‘紅ほっぺ’より大きい
- ②心止まり株が発生……………連続出蕾性が強く、花房の連続により発生

(3) その他の特性

- ①草丈は‘紅ほっぺ’より低い、強い立性を示す
- ②‘紅ほっぺ’より花数が少ない（表1）
- ③‘紅ほっぺ’より腋芽数が少ない（表1）
- ④果柄が‘紅ほっぺ’より短いため、花房第一果が葉陰になりやすい

[成果の活用面・留意点]

- 1 ランナーの発生が‘紅ほっぺ’よりやや少ないが、十分な数は確保可能。
- 2 育苗中の施肥量が多いと花芽分化が遅れるため、施肥量と施肥時期に留意する。
- 3 炭疽病、うどんこ病に対する罹病性は‘紅ほっぺ’程度と考えられるため、同様に防除を徹底する。
- 4 主に花房第1果に頂部軟質果や白ろう果の発生、厳寒期に裂皮が発生する場合があります、現在、原因を調査中である。
- 5 県内限定生産であるため、種苗の取扱いに注意する。

[具体的データ]

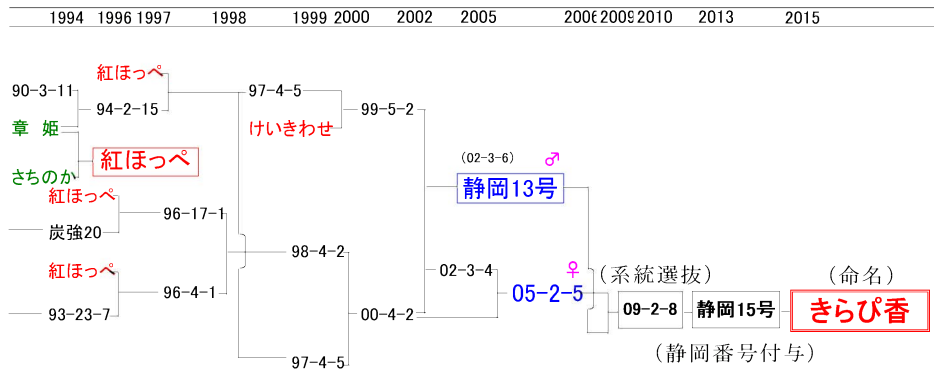


図1 きらび香の系譜

表1 きらび香の収穫始め頃の生育と開花・成熟日 (2011~2013年度平均)

品種・系統名	葉面積 (cm ²)	葉柄長 (cm)	芽数 (芽)	頂花房				一次腋花房		二次腋花房	
				分枝数 (本)	花数 (花)	開花日	成熟日	開花日	成熟日	開花日	成熟日
きらび香	203	21.5	1.1	2.1	17.1	10/24	11/29	12/6	1/25	1/17	3/7
紅ほっぺ	223	23.4	1.4	2.8	20.6	11/10	12/19	12/31	2/14	2/2	3/17
章姫	214	23.5	1.1	2.9	40.6	11/3	12/10	1/6	2/17	2/21	3/25

表2 きらび香の収量性¹⁾と果実品質²⁾ (2011~2013年度平均)

品種・系統名	年内収量			合計収量			糖度 (Brix%)	酸度 (%)	硬度 (kg/φ5mm)
	果数 (個)	果重 (g)	1果重 (g)	果数 (個)	果重 (g)	1果重 (g)			
きらび香	91	1,750	19.3	358	6,376	17.8	9.8	0.75	0.32
紅ほっぺ	43	1,081	25.0	368	6,518	17.7	9.2	0.79	0.28
章姫	90	1,399	15.5	360	5,104	14.2	9.1	0.69	0.25

1) 年内収量は12月末まで、合計収量は3月末までの8g以上の可販果。 2) 頂花房~第二次腋花房の平均。

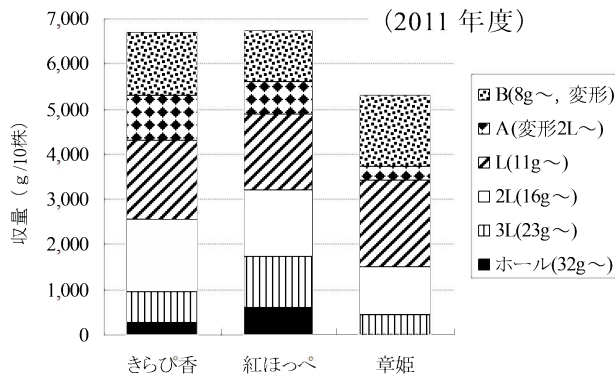


図2 きらび香の階級別収量¹⁾

1) 3月末まで、無摘花

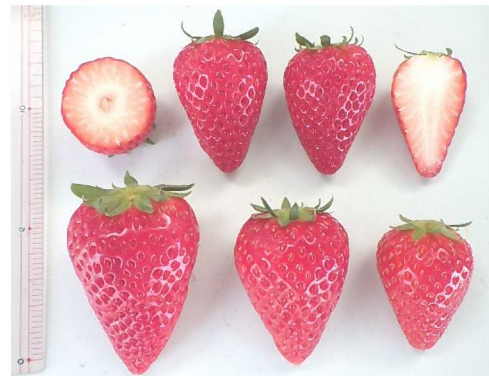


図3 きらび香の果実

[その他]

研究課題名：静岡イチゴの「作ってよし・売ってよし・買ってよし」新ブランド創出と産業構造の変革

予算区分：県単

研究期間：2012~2014年度

研究担当者：竹内隆、河田智明、井狩徹、望月麻衣、大石智広、済木千恵子、池ヶ谷篤、五藤由香理